



受動喫煙の害

煙草から立ち昇る煙や喫煙者が吐き出す煙には大変多くの有害物質が含まれています。自らは煙草を吸わないのに、毎年多くの方が受動喫煙のため、肺がん・虚血性心疾患（心臓病）で亡くなっています。受動喫煙の害は明らかであり、子どもでは呼吸器疾患・耳疾患・乳幼児突然死症候群などのリスクを、妊婦においては低体重児・早産のリスクを高めます。喘息をお持ちの方では、発作回数が増え、症状も重くなります。肺気腫といった慢性閉塞性肺疾患（COPD）の原因にもなるでしょう。

世界的にも、国内でも、受動喫煙に関する啓蒙活動は既に盛んに行われており、みなさんも一度は耳にしたことがあるのではないのでしょうか。非喫煙者はこのことに対し敏感ですが、得てして喫煙者は鈍感です。喫煙者が多い環境下や宴会時などでは、なおさらです。

親が喫煙者であり、子は喘息にも関わらず日常的に受動喫煙（結果として頻回に発作で受診）。肺気腫のため本人は禁煙を決意するも、家族が目の前で平気で喫煙する（結果として病状悪化）。受診される方をみていると、こういったことが決して稀ではありません。

職場、家庭内、車内、公共の場など、必ず近くには、煙草を吸わない人がいます。その人は、現在妊娠しているかもしれません。喘息を治療中かもしれません。心の中では、近くで煙草を吸わないで欲しいと思っています。いずれにしても、あなたの吸う煙のために、その人（胎児）は病気となり最悪の場合亡くなります。受動喫煙という観点以外からも、喫煙は決して自分だけの問題ではありません。様々な面から、家族・大切な人を確実に巻き込みます。喫煙行動が自分や周囲へ与える影響を、一度客観的に見つめ直してみまじょう。

住民福祉課から

ジェネリック医薬品をご存じですか？

先発医薬品（これまで使われてきた新薬）の特許が切れた後に医薬品メーカーが製造・販売する「ジェネリック医薬品（後発医薬品）」は、厚生労働省から「先発医薬品と同じ有効成分を同量含んでおり、（先発医薬品と）同等の効能や効果が得られる」と認められた医薬品です。先発医薬品に比べて薬の値段が3割～5割程度安くなる可能性があります。ぜひジェネリック医薬品をご活用ください。なお、ジェネリック医薬品を希望する場合は、医師や薬剤師にご相談ください。

【お問合せ】住民福祉課 国保係 担当：金沢、大畑

国民健康保険税（2期）、後期高齢者医療保険料（2期）の納期は、

9月30日(水)です。忘れずに納付しましょう！

※納期ごとの納付が困難な方は、分割による納付も可能です。
お気軽に住民福祉課へご相談ください。